

北広島ねむりところのクリニックで実施している睡眠検査

20250901

1) 簡易睡眠時無呼吸検査

自宅で行う睡眠時無呼吸検査です。呼吸状態と酸素飽和度を体位別に測定します。無呼吸低呼吸指数（AHI）が40回/時以上の場合、持続陽圧呼吸（CPAP）療法が適応となります。

2) 睡眠ポリグラフ検査（Polysomnography：PSG）（図）

一泊入院し、脳波、呼吸状態、眼球運動、筋電図、心電図、酸素飽和度などを測定し、ビデオ同時記録する精密検査です。睡眠の深度、睡眠中の呼吸状態や脚の動き、異常行動を検査します。睡眠時無呼吸や周期性四肢運動障害、レム睡眠行動障害など、さまざまな睡眠障害の診断が可能です。無呼吸低呼吸指数（AHI）が20回/時以上の場合、持続陽圧呼吸（CPAP）療法が適応となります。なお入院検査は北広島病院で行います。



3) 反復睡眠潜時検査（Multiple Sleep Latency Test：MSLT）

日中に2時間間隔で5回眠ってもらう検査で、日中の眠気の強さを客観的に評価します。脳波、眼球運動、筋電図、心電図を測定し、ビデオ同時記録します。ナルコレプシーなどの過眠症の診断に必須です。通常、前夜の睡眠ポリグラフ検査に引き続き北広島病院で実施します。

4) 覚醒維持検査（Maintenance of Wakefulness Test：MWT）

暗く静かな環境でどのくらい起きていられるかを客観的に評価する検査です。日中に2時間間隔で4回、1回40分間行います。脳波、眼球運動、筋電図、心電図を測定し、ビデオ同時記録します。職業ドライバーやパイロットなど業務中に眠ってはいけない人に必要とされることがあります。日中の眠気をきたすような疾患（睡眠時無呼吸症候群、過眠症など）の治療効果を判定することができます。日帰り検査です。クリニックで行います。

表 睡眠検査のまとめ

検査名	対象疾患・目的	備考
簡易睡眠時無呼吸検査	睡眠時無呼吸症候群	<u>自宅</u> で実施
睡眠ポリグラフ検査	睡眠障害全般	<u>北広島病院</u> に1泊入院
反復睡眠潜時検査	過眠症	睡眠ポリグラフ検査に引き続き <u>北広島病院</u> で実施
覚醒維持検査	日中の眠気をきたす疾患の 治療効果判定	<u>クリニック</u> で日帰り検査